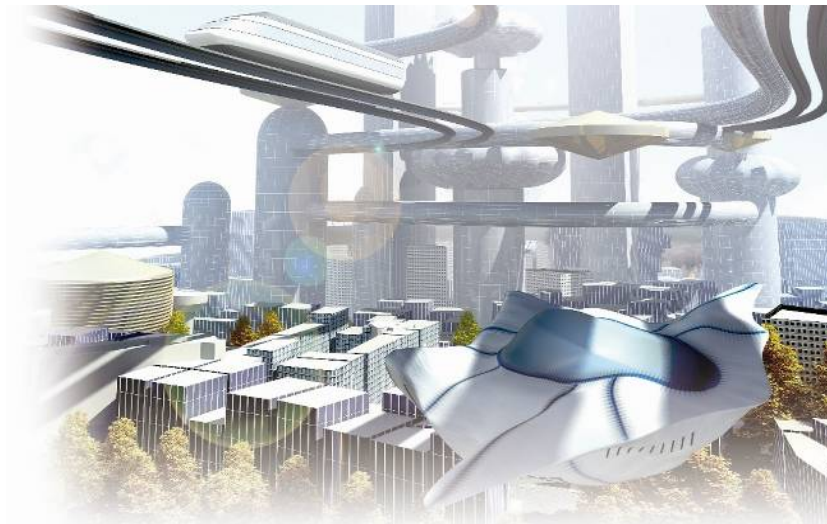


エコアクション21 環境経営レポート 2023年度

(2023年8月1日～2024年7月31日)



1. 組織の概要	P.2
2. 環境経営方針	P.3
3. (基準年の環境負荷と) 環境経営目標	P.4
4. 環境経営計画に基づき実施した取組内容・実施体制	P.5
5. 取組結果とその評価及び次年度の取組計画	P.7
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P.8
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	P.8
8. FCRのSDGsの取り組み	P.9

2025年1月8日発行



FCR株式会社

1. 組織の概要

(1) 事業者及び代表者

FCR株式会社

代表取締役 渋谷 弘

URL : www.fcr-corporation.co.jp

(2) 所在地

東京都大田区田園調布3-41-2

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 小竹 由起子

連絡先: TEL 03-5483-0010 FAX 03-5483-0888

Email : yukiko.odake@fcr-corporation.co.jp

(4) 事業内容

鉄道及び維持管理トータルサービス

鉄道設備維持管理に関する技術調査・研究開発

鉄道土木・建築に関する商品販売

抗ウイルス・抗菌事業のコーティング施行

各種セミナー

(5) 事業の規模

設立年月日 2002年5月17日

売上額 146百万円(2023年度2023年8月1日～2024年7月31日)

総従業員数 6人(役員含む)

事業所延床面積 92.23m²

(6) 対象期間

全社員が対象となり活動

取り組み期間 2023年8月～2024年7月(1年)

(7) 登録事業者名 FCR株式会社

登録範囲 東京都大田区田園調布3-41-2 FCR(株)

2. 環境経営方針

FCR株式会社の環境経営方針

基本理念

FCR株式会社は「安全・安心な鉄道インフラの実現」、「持続可能な地球環境の実現」、「地域発展に貢献」、「安心して働くことができる職場」、の4つのテーマを掲げ社会課題解決に向けて貢献していきます。

【環境理念】

FCR株式会社は環境保全のため、自主的かつ積極的に環境への取り組みを継続的に推進します。

【行動指針】

- ・ 環境関連法規などの遵守を誓約する。
- ・ 環境目標を定め、定期的に見直しをして、継続的改善に努めます。
- ・ PETボトルや高炉スラグを再利用した商品などの販売促進に取り組みます。
- ・ エネルギー使用量削減に努めます。
- ・ 水使用量削減に努めます。
- ・ SDGsの取り組みを、積極的に取り組みます。
- ・ 環境に配慮した事務用品を使用します。環境負荷低減に取り組みます。

2023年4月20日制定

FCR株式会社

代表取締役 渋谷 弘

3. (基準年の環境負荷と) 環境経営目標

環境経営 目標	基準(2021年度実績)		2022年度目標		*1中期目標(通年)	
	*1(通年)	2022年 5月～7月	(通年)	2023年 5月～7月	2023年度	2024年度
1. CO ₂ 削減 *2	4,659 kg-CO2	927 kg-CO2		1%削減 918 kg-CO2	2%削減 4,566 kg-CO2	3%削減 4,519 kg-CO2
①電力使用 量削減*4	10,331 kWh	2,056 kWh		1%削減 2,035 kWh	2%削減 10,124 kWh	3%削減 10,021 kWh
2. 一般 廃棄物排 出量削減	計量なし	計量なし		*3 目標なし	1%削減 277.2 kg	2%削減 274.4 kg
3. 水資源投 入量削減*4	130.8 m3	18.96 m3		1%削減 18.77 m3	1.5%削減 128.8 m3	2%削減 128.2 m3
5. 環境配慮 製品売上増 *5	1,930 万円	322 万円		2%増加 328 万円	2.5%増加 1,978 万円	3%増加 1,988 万円

*1 決算年度が8月から7月となっている

*2 電力の調整後の二酸化炭素排出係数(東京電力エナジーパートナー2021年度):0.451kg-CO2/kWh

*3 廃棄物排出量は2021年度計量がなく、基準値とできなかった為、2023年5～7月の目標は設定できなかった。

そのため、この3ヶ月実績(60.0kg)を4倍し、別途溶解処理40kg追加で、年度基準値は280kgとする。

中期目標「2023年度:277.2kg」、「2024年度:274.4kg」とする。

*4 電力/水道量の負担割合は建物の事務所割合床面積の24%として計算

*5 対象製品:サカサR-PET、草デン土

4. 環境経営計画に基づき実施した取組内容と結果・実施体制

4-1 取組内容

環境経営計画	環境経営計画に基づき実施した取組内容	今期結果
1. CO2排出量の削減	・ 電力使用量削減	
	・ 業務効率化	○
① 電力使用量の削減	全従業員による通年の取り組みとする	
・ エアコンの温度管理	・ 夏季:28℃、冬季:21℃を目途とする	○
・ 空調と扇風機、サーキュレータを併用	・ サーキュレータ併用で事務所内温度の均一化	○
・ 不在時消灯の徹底	・ 昼食時、事務所不在時にはこまめに消灯	○
・ エレベータを極力使用しない	・ 大きな荷物を運ぶ時のみ利用とした	○
・ クール&ウォームビズを推進	・ 服装で温度調節できるよう意識した	○
2. 廃棄物排出量の削減	全従業員による通年の取り組みとする	
・ 可燃ごみ量の軽減	・ 段ボール梱包材などの再利用	○
・ 資源ごみ、梱包材の見直し	・ 印刷物は集約、両面印刷など排出時工夫	○
・ コピー機使用量軽減	・ 請求書郵送を基本廃止した ・ カタログ類の紙版を軽減し、WEB版へ移行	○
・ グリーン商品購入の心掛け	・ グリーンマーク商品(FSC認証紙等)を優先購入	○
3. 水使用量の削減	全従業員による通年の取り組みとする	
・ 生活用水の節水意識の高揚	・ 洗面所、給湯場に節水メモを貼付	○
	・ 常に節水意識を忘れないようにする	○
4. 環境配慮製品の売上増	営業担当者による継続的推進活動を行う	
・ 再生素材使用商品の拡販構築	・ ペットボトル再利用したリサイクル防草シート「ナクサR-PET」の拡販	○
	・ 石油由来材料や有機材料を含まない高炉スラグを再利用した防草土「草デン土」の拡販	○

○:取り組めた、△:一部取り組めなかった、×:取り組みが不十分だった

4-2実施体制



	役割・責任・権限
代表者	1 環境管理責任者の任命 2 環境経営方針の制定 3 エコアクション21を運用し、維持するための経営資源を準備 4 代表者による全体評価と見直し、指示 5 環境経営レポートの承認 6 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
環境管理責任者	1 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2 全社員への環境経営システムの実施状況報告 3 業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施 4 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 5 環境関連文書及び記録の作成・整理 6 環境活動実績の確認・評価 7 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 8 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 9 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 10 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
従業員	1 環境経営方針を理解し、環境経営計画に従って活動

5. 取組結果とその評価及び次年度の取組計画

5-1 運用期間中の取組結果と評価

環境経営計画	取組結果とその評価(2023年8月～2024年7月)				
	目標値	実績	達成率	達成区分	取組み結果と評価
1. CO ₂ 削減	4,566 kg-CO ₂	4,008 kg-CO ₂	114%	○	空調設備の専門家によるメンテナンスを行い、エネルギー効率をUPできるようにした。 フィルターの清掃や冷却能力の向上を図り、効率的な冷房運転を実現しました。これにより、今年の猛暑時の電力消費を大幅に軽減できました。
①電力使用量削減 (0.451kg/CO ₂ -kWh)	10,124 kWh	8,886 kWh	114%	○	
2. 一般廃棄物 排出量削減	277.2 kg	280 kg	99%	△	業務プロセスをデジタル化し、紙の使用を削減しました。(鉄道技術展出展の為、スポット的に増加した。) ・請求書の郵送からメール送付への移行 ・紙カタログから電子カタログへの移行
3. 水使用量削減	128.8 m ³	118.3 m ³	109%	○	定期的に社内で節水に関する啓発活動を行いました。 社員一人ひとりが小さな節水を意識できるよう、メモを貼り節水情報を共有しています。
4. 環境配慮製品の 売上増 ナクサR-PET/草デ`ン土	1,968 万円	2,115 万円	107%	○	環境への配慮を重視した製品の販売を強化し、拡販活動に力を入れ、売上増加が実現できた。 今後も環境配慮製品の売上を着実に増加させるよう取り組んでいきます。

○: 目標達成、×: 目標未達 △: 目標未達(100%未満、95%以上)

5-2 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

2024年度環境経営目標については3項の中期環境経営目標に示す。

また環境経営計画については4.1項の取組内容を概ね引き継いで実行する。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

適用環境関連法規等	適用される事項（施設、物質、事業活動等）	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検	○
家電リサイクル法	テレビ、冷蔵庫	○
小型家電リサイクル法	携帯電話機	○
毒物及び劇物取締法	毒物劇物に該当する商品を取扱う為 「毒物劇物一般販売業登録」(6年毎更新)	○

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去ありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

「エコアクション21」への取り組みを通じて、環境への負荷を大きく減らし、持続可能な社会に貢献するため一定の成果を上げることができました。

また、社員全員が環境意識を高め、日々の業務の中で積極的に取り組んでいる姿勢が、今後のさらなる成長を支える重要な要素だと感じています。

今後も、これらの取り組みをさらに進め、環境負荷の削減だけでなく、企業としての社会的責任を果たすことに力を入れていきます。さらに、環境に配慮した新しい製品やサービスの開発にも注力し、持続可能な社会の実現に向けた貢献を続けていきます。

8. FCR のSDGsの取り組み

FCR 株式会社は国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、「安全・安心な鉄道インフラの実現」、「持続可能な地球環境の実現」、「地域発展に貢献」、「安心して働くことができる職場」、の4つのテーマを掲げ社会課題解決に向けて貢献していきます。

安全・安心な鉄道インフラの実現

「防災分野を中心とした技術開発」を通して、お客様の安全、安心に貢献します。お客様の悩みに寄り添った技術・商品開発をもとに社会のニーズに答えます。

【主な取り組み】

- ・お客様の悩み・要望を踏まえた商品開発・提供
- ・新規商品の開発から量産まで幅広く対応



持続可能な地球環境の実現

資源の有効活用や省エネルギーへの取り組みなど環境負荷低減に努め、地球環境保全に貢献します。

【主な取り組み】

- ・事務所の照明をLEDへ切り替え
- ・CO₂削減のため99%再生材ごみ袋利用
- ・PETボトルを再利用した防草エンボスシートの販売促進
- ・高炉スラグを再利用した防草・舗装土の販売促進



地域発展に貢献

地域社会との信頼関係を構築し地域の発展に貢献するとともに、安心して暮らせる社会づくりに貢献します。

【主な取り組み】

- ・地元企業への積極発注、商品開発
- ・地元人材の積極採用
- ・地元自治体と積極的な連携による事業活動の実施

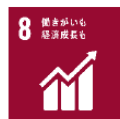


安心して働くことができる職場

働きやすい職場づくりを実践により、従業員が健康で働き甲斐を持ち安心して働くことができる会社を目指します。

【主な取り組み】

- ・健康診断や福利厚生充実
- ・ジェンダーフリーの一環で女性の活躍を促進
- ・多様な勤務形態の整備
- ・従業員の自己啓発の支援



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

FCRは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

紙のカタログ配布を減らし、QRコードから読み込みダウンロードカタログへと変更をしました

会社案内	伏び専用維持管理 トータルサービス
伏び不明片管口探査、 閉塞位置探査 「FCR伏び位置探査」	FCR工法協会 会員リスト